

起業家の集まるまち守山の

# 「びわ湖キャリアチャレンジ・びわ湖ピッチ」が キャリア教育推進連携表彰 奨励賞を受賞しました

☎地域振興課 ☎(582)1165 ☎(582)1166

本市が地方創生の一環として令和2年度から実施している、将来を支える若い世代の起業家教育推進事業「びわ湖キャリアチャレンジ・びわ湖ピッチ」が、文部科学省と経済産業省が共同で実施している第11回「キャリア教育推進連携表彰(奨励賞)」を受賞しました。この表彰は、学校を中心としたキャリア教育の推進のために、教育関係者(学校や教育委員会など)と行政(首長部局など)や地域・社会(NPO法人やPTA団体など)、産業界(経済団体や企業など)が連携・協働して行う取り組みを奨励・普及するため、平成23年度に創設された表彰制度です。

今回は、「びわ湖キャリアチャレンジ・びわ湖ピッチ」で最優秀賞に輝いた参加者にお話を伺いました。



のと ゆうか  
能登 優佳 さん(立命館守山高等学校1年生)

先輩に勧められて「やってみようかな」と軽い気持ちで参加しました。コロナ禍でイベントなどがなくなって、人と人のつながりが希薄になっていて感じていたので、自分が好きなバスケットボールを通して、人と人がつながるアプリを制作・運営するビジネスプランを作りました。初挑戦なので傾向や「受け」は意識していませんでした。

1人チームでしたが、起業家や参加者など周囲の大人がアドバイスもしてくれました。発表(ピッチ)の時は、緊張で頭の中が真っ白になってし

まって、あまりはっきり覚えていません。それが最優秀賞に選ばれたので、嬉しい反面、びっくりしました。

受賞から、ほかのコンテストにも友達とチームを作って挑戦するようになりました。将来に「起業」の選択肢や夢が広がりました。あの時発表したプランのブラッシュアップもしています。

このプランかどうかは分かりませんが、「いつか、自分のプランで起業してみたい」という気持ちが生まれました。

## びわ湖キャリアチャレンジとは

地域の魅力や課題からフィールドワーク、ワークショップなどを経てビジネスプランを作り上げ、発表(ピッチ)します。これは、子どもたちの進路に「起業」という選択肢を広げるだけでなく、参加者が自らチャレンジする起業家精神やコミュニケーション能力を磨く機会にしておうと3年前から実施しています。

令和4年度は高校生6チームが参加。作り上げたビジネスプランを、社会で活躍する起業家・投資家・専門家を前に発表しました。審査の結果、最優秀賞(link)のほか、協賛企業より「コカ・コーラ賞」「旭化成賞」「平和堂賞」「村田製作所賞」「ファイナンス賞」などが贈られました。

